

令和元年度第1回 長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日時：令和元年7月19日(金) 13:30～15:30

会場：長野市犀川浄水場 1階会議室

1 開 会

2 委員委嘱

3 管理者あいさつ

4 委員及び事務局自己紹介

5 会長及び副会長選出

6 議 事

(1) 上下水道局の組織及び今年度の審議スケジュール

○事務局から説明

(2) 水道事業の概要

○事務局から説明

(3) 下水道事業の概要

○事務局から説明

○議題(1)から(3)について一括質疑応答・意見

〔委 員〕

- ・横浜市では市内の井戸を把握して、災害時の生活用水確保及び職員の負担軽減を図っている。市の配水池の耐震化が完了するまでの代替として、井戸マップを作っているかどうか。

〔事務局〕

- ・市の防災計画では、地震等の災害時に主要な配水池の水を一週間程度市民の皆様に使っていただけるようになっている。井戸の把握は行っていないが、今後の参考にさせていただく。

- ・井戸水の確保は水道事業とは別になってしまうが、防災担当部局と情報を共有していきたい。

[委 員]

- ・長野市内は市営水道と県営水道で分かれているが、県から譲渡してもらって運営したらどうか。

[事務局]

- ・これまでも検討してきたが、県営水道は上田市から長野市までの流域で事業を運営していることから、長野市域だけというのは難しい。現在は、広域的に連携できないか検討している。

[会 長]

- ・県営水道から長野市域分を引き取るのは簡単だが、残った地域の料金が上がってしまうと聞いたことがある。人口が急激に減っていくことも踏まえ、長期的な検討が必要。統合するメリットやそれぞれの立場によって考え方が違うため、継続的に関係機関と協議していただきたい。

[委 員]

- ・昔は県営水道が高かったため、市営水道との差額を補てんしてもらっていたと思う。
- ・以前、長野市で水を販売していたと思うが、今はどうなっているのか。

[会 長]

- ・以前、ペットボトルに入れた戸隠の水をもらったことがあるが、採算等の問題があるため難しいと思う。

[委 員]

- ・料金を考える上での確認だが、中山間地で浄化槽を設置した場合は平地と同じ使用料を負担してもらいながら、補助もしている（コストが掛かっている）と理解してよいか。

[事務局]

- ・町場の公共下水道と山手の戸別浄化槽は、市内全て同じ基準で使用料をいただいている。
- ・局が設置して管理する戸別浄化槽は、設置工事費の割を分担金という形でいただいている。
- ・一般家庭で使用する水量は少なく下水道使用料収入もそれなりの金額であるため、現状はそれを上回る浄化槽の維持管理費が掛かっている。

[委 員]

- ・下水道事業会計として一緒にやっているということだけではなく、中山間地も町の中も把握できているから全体像が分かっているということか。

〔事務局〕

- ・会計は一つだが、経理の中で分割して管理しているので、はっきり分かれている。

(4) その他

○次回審議会日程（9月30日）について事務局から説明

7 閉 会

(終了時間 15:30)